

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスのびのびの木		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日 ~		令和8年2月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和8年1月28日 ~		令和8年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラム	- 基本活動（療育活動）と個別活動（遊び、宿題、個別支援目標等）を組み合わせ毎日提供。 5領域を振り分けた基本活動。 - 論理的思考の基礎としてプログラミングを実施（土曜日と長期休暇）。	- 支援者側のスキルの向上 - 意思決定支援が図れるように選択肢の活用 等
2	保護者サポート	- 極力わかりやすく丁寧な説明。 - 個々のご家庭のご事情への配慮。 - 成長の喜びの共有、課題のすり合わせ等。	- 個々に合った伝達方法（対面、ツール、電話） - 日頃から丁寧な子どもの観察 等
3	支援内容の共有	- 子どもが来所する前に当日の支援内容や前日からの引き継ぎ事項を出勤者全員で確認。 - 経過記録の日々の整備。 - 家庭、学校からのその日の情報の共有。	個別支援目標の丁寧なすり合わせ 等

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近隣地域との交流や他事業所（学童クラブ等）との活動の機会	- ビルのテナントのため、近隣地域との関係の希薄さ。 - 子どもの多くがお稽古事等を通して他の子どもとの交流が図れている。	ビルテナントの方へ事業所のご理解を頂くための活動の検討
2	非常時の対応について保護者とマニュアルの共有	十分な共通認識とまでには至っていない。	事業所懇親会だけでは不参加のご家庭もありの でモニタリング等の機会にも改めてご説明
3	個々の保護者との信頼関係	利用頻度が少ない場合、コミュニケーションの機会も必然的に少なくなりがち。	1回の利用の際の保護者との関わりを密にする